

宣教支援センターだより
2021年6月号

福岡県の緊急事態宣言が延長になり、祈禱会を休止している教会が多くあります。このようなときこそ、置かれた場所での祈りを大事にしたいと思います。

■教会を新たにするために

その3 持続可能な教会運営を目指す

私が地方連合の主事として諸教会で目指す目にかかる方の中には、「後のことは若い方がたで」とおっしゃる方が少なくありません。そのお気持ちをお察しします。

例えば60歳以下ということ考えた場合に、シオン山教会の中で教会の運営にかかわることのできる方が、果たしてどれだけおられるでしょうか。

例えば対人援助のお仕事の方は、毎週の礼拝出席さえ叶わないことがあるかもしれません。奉仕の継承がなかなか進まない。これが実情であろうと思います。

体調を気遣いながら、これまで忠実に教会に仕えてきてくださっているお一人お一人のお働きに感謝いたします。

限られた人材で教会を運営していくためには、持続可能な教会運営を目指す必要があります。そして牧師の見守りの中で、信徒どうしが安心してことばを交わすことのできる場と機会を保証する必要があります。

教勢の維持が難しい現実を前にして、私は創立100周年を終えた後の5年間の取り組みが、将来のシオン山教会の在り方を大きく左右すると考えています。

幸い今年度はシオン山教会に伴走させていただいています。祈りを合わせるとともに、教会に連なるみな様方と語り合いたい。心からそのように願っています。

■第1回協力伝道ミーティング

7月4日(日)14時から16時まで、シオン山教会を会場に、第1回協力伝道ミーティング(地方連合主催)を行います。話し合いのテーマは「どうする?北九州地方連合、どうする?教会」です。

教会員の減少により、教会の存続に黄信号の灯っている教会が、複数あります。

教会が立ち行かない状況に陥った場合、地方連合に何ができるのか。諸教会に何ができるのか。協力伝道の事柄として、具体的に話し合う必要が生じています。

詳しくは会堂の掲示をご覧ください。

■今月の予定

- 6日(日)シオン山教会礼拝出席
- 12日(土)愛の園保育園評議員会出席
- 13日(日)若松教会礼拝出席
- 15日(火)総務財務委員会陪席
- 17日(木)連合役員会
- 19日(土)信徒研修会(オンライン)
- 20日(日)小倉教会礼拝出席
- 23日(水)聖書講座(医療刑務所)
- 26日(土)シオン山・執事会陪席
- 27日(日)シオン山教会礼拝出席
芦屋教会尹牧師就任式
- 29日(火)センター調整会議

■編集後記

我が家は団地の4階。エレベーターはありません。日々の階段の昇り降りが、エクササイズになります。(齊藤弘司)